

土地改良広報



4月号表紙写真

第12回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト
カメラ部門 ふるさと賞
作品名：『花いっぱい石巻線』
撮影地：涌谷町

Contents

- 第66回 通常総会を開催しました
- 令和7年度 本会予算が決定しました
- 第66回 全国水土里ネット表彰式が開催されました
- 第12回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表

土地改良区めぐり

シリーズ47 ～ 河南矢本土土地改良区

4月号目次 —NO. 637—

□トピックス

- P3 第5回監事会・第4回理事会を開催しました
- P4 第66回 通常総会を開催しました
- P6 令和7年度 本会予算が決定しました
- P7 第66回全国水土里ネット表彰式が開催されました
- P8 第2回河南矢本・蛇田土地改良区合併推進研究会及び
河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会設立総会を開催されました
- P8 第47回全国土地改良大会佐賀大会
- P9 宮城県農業用ため池保全管理技術研修会を開催しました
- P9 土地改良区職員研修会を開催しました
- P10 農業農村整備研修会を開催しました
- P10 基礎水利施設省エネルギー化技術向上研修会を開催しました
- P11 農業水利施設ストックマネジメント研修会を開催しました
- P11 多面的機能支払交付金に係る土地改良区事務受託研修会が開催されました

□土地改良区めぐり

- P12 土地改良区めぐり 河南矢本土土地改良区 シリーズ 47

□おしらせ

- P13 第12回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表！！
- P15 女性理事登用事例 江合川沿岸土地改良区
- P16 用水路やため池での水難事故に注意！
- P16 水土里ネットみやぎ職員募集
- P17 本会資格取得者
- P17 人事異動
- P18 就退任
- P18 連合会日誌（1月～3月）
- P18 今後の行事予定（4月～6月）

土地改良歴史資料室について

土地改良事業では多くの技術図書が作成されており、農業農村整備における技術の変遷や地域の特徴などが記載された貴重な文献となっています。

水土里ネットみやぎでは、これらに関する図書や資料を収集し一括管理をしています。広く県民の方々に土地改良事業の認識を深めていただく事を目的として、土地改良歴史資料室をご利用ください。

【URL】 <https://mlw.or.jp/news/8089/>



第5回監事会・第4回理事会を開催しました

第5回監事会

2月21日、「第5回監事会」を開催し、以下の1議案について審議を行いました。その結果、原案のとおり承認・可決されました。

第5回監事会の提出議案は以下のとおりです。



第5回監事会の様子

第1号議案 令和6年度一般会計収入支出補正予算の専決処分に係る承認について

第4回理事会

2月21日、「第4回理事会」を開催し、以下の5議案について審議を行いました。その結果、原案のとおり承認・可決されました。

また、事務局からの報告事項として、「今後の行事予定について」、「第66回全国土地改良功労者等表彰について」、「第66回通常総会の開催方法（案）について」、「令和7年度宮城県土地改良大会の開催（案）について」などについて報告し、理事会を終了しました。

第4回理事会の提出議案は以下のとおりです。



第4回理事会の様子

議案第1号 令和6年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について

議案第2号 職員就業規則の一部改正について

議案第3号 諸規程の一部改正について

議案第4号 第66回通常総会提出議案について

議案第5号 第66回通常総会の日時及び場所について

第66回 通常総会を開催しました

3月21日、宮城県土地改良会館5階大会議室において、「第66回 通常総会」を開催しました。

総会では、関係各機関より来賓を迎え、多くの会員の出席をいただきました。主催者を代表して伊藤康志会長より、「農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。異常気象や物価高騰、担い手不足など、農業の持続性への課題が山積する中、昨年改正された「食料・農業・農村基本法」により、食料安全保障の確保と農業生産基盤の保全が国の責務として明確に位置付けられました。これにより、土地改良の役割は一層重要性を増し、国の発意による更新事業創設や農業水利施設等の保全措置を含む土地改良法の改正案が国会に上程され、可決の見通しとなりました。一方で、農村地域では少子高齢化による担い手の減少により、営農の継続や農地・農業用施設の適正な保管理が困難な状況が続いています。これまで土地改良関係者は、農地の区画拡大や汎用化整備を推進してきましたが、今後は生産基盤の計画的な更新や地域の実情に即した施設保管理体制の構築が不可欠となります。本連合会は、引き続き会員支援の充実に努め、国や県、市町村と連携しながら、宮城の力強い農業と安心・安全な農村の実現に向けて全力を尽くしてまいります。」と開会挨拶を述べました。



伊藤康志会長の開会挨拶

続いて、来賓を代表し、菅家秀人東北農政局長、櫻井充参議院議員、村井嘉浩宮城県知事代理として橋本和博農政部長、高橋伸二宮城県議会議長代理として本木忠一宮城県議会副議長、村上智行水土里ネット議員懇話会会長代理として高橋宗也宮城県議会議員、宮崎まさお参議院議員より祝辞をいただきました。その後、来賓紹介と祝電の披露が行われました。



総会の様子

議事では、北上川沿岸土地改良区の大内健一理事長が議長に選任され、第1号議案から第11号議案までの審議が行われました。慎重な審議の結果、すべての議案が承認・可決されました。議案審議終了後、総会決議案について佐藤稔副会長より朗読・上程され、採択が決定となりました。最後に、菅原勘一副会長が閉会の挨拶を述べ、第66回通常総会はすべての議事を終了しました。第66回通常総会の提出議案は以下のとおりです。

第1号議案	令和5年度事業報告の承認について
第2号議案	令和5年度一般会計収入支出決算の承認について
第3号議案	令和5年度財産目録の承認について
第4号議案	令和6年度一般会計収入支出補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について
第5号議案	宮城県土地改良事業団体連合会定款の一部変更について
第6号議案	令和7年度事業計画について
第7号議案	令和7年度一般会計収入支出予算について
第8号議案	令和7年度役員報酬について
第9号議案	令和7年度経費の賦課徴収方法について
第10号議案	令和7年度取引先金融機関及び一時借入の方法について
第11号議案	役員の補欠選任について

補欠選任された理事

役職名	所属団体	氏名
理事	柴田郡村田町菅生土地改良区理事長	小山 昭一

決 議

現在、国際社会は、混迷が続くウクライナ情勢や世界的な物価高騰、地球規模の異常気象など様々な課題に直面している。また、我が県の農業・農村においても、農業従事者の高齢化や減少などにより、農地・農業用施設の保全管理や営農の継続が困難になるなど、様々な問題を抱えている。さらに、現下の電気料金や施設資材等の高騰により、土地改良施設の管理を担う土地改良区は、大変厳しい財政運営を余儀なくされている。

このような中、昨年の食料・農業・農村基本法の改正において、食料安全保障の確保や農業生産基盤の保全が国の責務として明記されたことは、これまで土地改良関係者が長年にわたり、責任と使命を持って取り組んできたことの価値が改めて、認められた証であり、土地改良関係者の存在意義をさらに高めるものである。

そのため、県内の均衡の取れた生産基盤の整備を目指し、これからも、農地の大区画化や汎用化整備、スマート農業等の導入を可能とする基盤整備や農業水利施設の老朽化対策、加えて、農村地域の防災・減災対策をより進める必要がある。

さらには、田んぼダムなどグリーンインフラを活用した「流域治水」への取り組みなど、多様な防災・減災対策を総動員し、農村地域の国土強靱化を一層推進していくことが重要である。

また、多様な関係人口の創出に向けた取組として、農村居住や農泊など、農村地域の受け入れ環境の整備も急務である。

土地改良関係予算は、『闘う土地改良』の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和7年度補正予算と令和7年度当初予算を合わせ、6500億円を確保することができた。しかし、当初予算の回復は未だ道半ばであり、計画的かつ安定的な事業実施に向けて、当初予算での予算確保が図れるよう、引き続き強力に要請活動を行っていく必要がある。

我々水土里ネットは、先人から連綿と受け継いできた農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承していく責務があり、国、県、市町村及び関係農業団体との連携を深めながら、活力ある農業・農村の実現と食料安全保障の強化に向けて積極的に貢献していく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに水土里ネット関係者が一致団結して左記事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

1. 農業の競争力強化及び食料安全保障の強化に向けて、高収益作物の導入や麦・大豆、飼料用作物等の国内生産の拡大、農地集積・集約化、スマート農業の導入を促す農地整備をより一層推進すること。
2. 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止のための措置を講ずること。また、農村地域の国土強靱化に向け、農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等を一層推進するとともに、田んぼダムなど流域治水の取組拡大に向けた必要な支援措置を強化すること。
3. 農業水利施設が都市部の洪水排水など、高い公共性・公益性を有することを踏まえ、さらには、異常豪雨の頻発化や電気料金等の高騰等を考慮し、農業水利施設の維持管理に対する支援を強化すること。
4. 男女共同参画など、新たな社会的要請等の対応について、引き続き必要な支援を講ずるとともに、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
5. 農業用水路や農道等の地域資源の保全活動を推進するため、多面的機能支払の十分な予算を確保するとともに、本制度の一層の充実に向け、水土里ネットが有する技術や経験などを十分発揮できるよう配慮すること。
6. 農村地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出に向け、テレワークなど新しいスタイルの働き方等の変化に対応できる環境整備や農村居住など、農村の価値や魅力を活かした農村振興施策を推進すること。
7. これら事業を計画的・安定的に推進するため、令和8年度当初予算では、食料安全保障の強化や国土強靱化などに大きく寄与する事業効果を強く訴え、工事価格等の高騰を踏まえた現場の要請に応えられる規模を確保すること。

令和7年3月21日

宮城県土地改良事業団体連合会
第66回通常総会

令和7年度 本会予算が決定しました

～総額 16 億 3 千 5 百万円（対前年比 94.3%）～

3月21日に開催された第66回通常総会において、『令和7年度一般会計収入支出予算案』が上程され、原案どおり承認・可決されました。予算は、当期収入・当期支出ともに令和6年度比94.3%となっています。

令和7年度 収入支出予算総括表

収入の部

(単位:千円)

科	目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1	一般管理収入	56,312	52,799	3,513	106.7 %	
2	補助指導事業収入	10,882	10,882	0	100.0	
3	受託事業収入	775,100	720,100	55,000	107.6	
4	維持管理適正化事業収入	569,253	556,996	12,257	102.2	
5	農道台帳管理事業収入	3,280	3,280	0	100.0	
6	土地改良基金事業収入	53,640	53,640	0	100.0	
7	農家負担金軽減支援対策事業収入	49,786	102,606	△52,820	48.5	
8	水土里情報システム運営事業収入	7,500	7,500	0	100.0	
9	基本財産運用収入	850	850	0	100.0	
10	特定資産運用収入	4,097	2,057	2,040	199.2	
11	その他の収入	620	620	0	100.0	
12	特定資産取崩収入	103,660	221,650	△117,990	46.8	
13	固定資産売却収入	10	10	0	100.0	
14	出資金等戻り収入	10	10	0	100.0	
	当期収入合計（A）	1,635,000	1,733,000	△98,000	94.3	
	前期繰越収支差額	988,131	1,021,972	△33,841	96.7	
	収入合計（B）	2,623,131	2,754,972	△131,841	95.2	

支出の部

(単位:千円)

科	目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1	一般管理支出	228,818	222,488	6,330	102.8 %	
2	補助指導事業支出	10,882	10,882	0	100.0	
3	受託事業支出	567,630	578,430	△10,800	98.1	
4	維持管理適正化事業支出	569,235	556,995	12,240	102.2	
5	農道台帳管理事業支出	3,280	3,280	0	100.0	
6	土地改良基金事業支出	53,710	53,710	0	100.0	
7	農家負担金軽減支援対策事業支出	49,786	102,606	△52,820	48.5	
8	水土里情報システム運営事業支出	7,500	7,500	0	100.0	
9	基本財産取得支出	10	10	0	100.0	
10	特定資産取得支出	68,589	56,549	12,040	121.3	
11	その他の支出	44,530	109,520	△64,990	40.7	
12	固定資産取得支出	1,020	1,020	0	100.0	
13	出資金等支出	10	10	0	100.0	
14	予備費支出	30,000	30,000	0	100.0	
	当期支出合計（C）	1,635,000	1,733,000	△98,000	94.3	
	当期収支差額（A）－（C）	0	0	0	—	
	次期繰越収支差額（B）－（C）	988,131	1,021,972	△33,841	96.7	

全国水土里ネット表彰式が開催されました

3月26日、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンパッハ・サボー」において、「第66回全国土地改良功労者等表彰」並びに「農業農村整備優良地区コンクール表彰」の各表彰式が開催されました。

全国土地改良功労者等表彰は、永年にわたり土地改良の発展、推進に多大な貢献をされた土地改良関係者（団体または個人）に授与されるものです。

本県からは、団体表彰の全土連会長賞として、柴田郡村田町菅生土地改良区と大貫土地改良区が受賞されました。個人表彰では、役員表彰として仙台市岩切土地改良区理事長の佐藤俊郎氏、登米市豊里町土地改良区理事長の阿部公氏、登米市豊里町土地改良区理事の渡辺重利氏、大崎土地改良区総括監事の南生静則氏が受賞されました。職員表彰では、迫川沿岸土地改良区総務課長の小野寺誠毅氏、登米市豊里町土地改良区工務課長の志賀泉氏、河南矢本土地改良区工務課長の内海善吉氏がそれぞれ受賞されました。

農業農村整備優良地区コンクールの全土連会長賞では、河南4期地区の農事組合法人たてファーム・和が表彰されました。

受賞された関係機関並びに関係者の方々には、心よりお祝い申し上げます。



全国水土里ネット二階会長の挨拶



庄子賢一農林水産大臣政務官（右）
大貫土地改良区の遠藤理事長（中央）
迫川沿岸土地改良区の小野寺総務課長（左）

～ 第66回全国土地改良功労者等表彰 ～

団体表彰	全土連会長賞	柴田郡村田町菅生土地改良区 大貫土地改良区
個人表彰	役員表彰	佐藤 俊郎 氏（仙台市岩切土地改良区理事長） 阿部 公 氏（登米市豊里町土地改良区理事長） 渡辺 重利 氏（登米市豊里町土地改良区理事） 南生 静則 氏（大崎土地改良区総括監事）
	職員表彰	小野寺 誠毅 氏（迫川沿岸土地改良区総務課長） 志賀 泉 氏（登米市豊里町土地改良区工務課長） 内海 善吉 氏（河南矢本土地改良区工務課長）

～ 農業農村整備優良地区コンクール表彰 ～

全土連会長賞	河南4期地区 農事組合法人 たてファーム・和
--------	------------------------

第2回河南矢本・蛇田土地改良区合併推進研究会及び 河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会設立総会が開催されました

3月27日、石巻市役所において、「第2回河南矢本・蛇田土地改良区合併推進研究会」及び「河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会設立総会」が開催されました。

令和6年8月に設立した河南矢本・蛇田土地改良区合併推進研究会では、実務者会議を通じて両土地改良区の合併に関する課題の整理・検討を行ってきました。今回の第2回研究会では、これまでの検討結果について報告が行われるとともに、合併の早期実現を目指し、「推進協議会」へ移行することといたしました。

開催内容及び協議会設立総会提出議案は次のとおりです。



集合写真

第2回河南矢本・蛇田土地改良区合併推進研究会

1	実務者会議での協議状況等の報告について
2	合併構想（案）について
3	河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会設立総会への提出議案について
4	その他

河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会設立総会提出議案

- 議案第1号 河南矢本・蛇田土地改良区合併推進協議会規約（案）について
- 議案第2号 役員の選任について
- 議案第3号 令和7年度事業計画（案）について
- 議案第4号 令和7年度収支予算（案）について

第47回 全国土地改良大会佐賀大会

日程：令和7年10月15日（水）
会場：佐賀県佐賀市『SAGA アリーナ』

水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

本大会は、「農業・農村の重要性」およびそれを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールし、国の礎である農業・農村のさらなる発展と、次世代への継承を目的として毎年度開催されており、農業・農村整備に携わる全国の関係者が一堂に集う式典です。



宮城県農業用ため池保全管理技術研修会を開催しました

2月4日、宮城県土地改良会館において、県市町村職員や関連団体等から75名参加のもと、「宮城県農業用ため池保全管理技術研修会」を開催しました。

本研修会は、ため池の保全管理に対する理解を深めることを目的に、宮城県及び宮城県ため池サポートセンターの主催により開催したものです。

研修では、NTC コンサルタンツ株式会社より専門講師をお招きし、ため池の構造や崩壊のメカニズムなどについて解説いただきました。また、ため池サポートセンターからは、日常管理のポイントや実際の点検事例について講義を行い、参加者の理解促進を図りました。



研修会の様子

研修内容	講師名
農業用ため池管理の基礎と実務対応 ―安全・安心のための基本と実務―	NTC コンサルタンツ株式会社 水土事業部副事業部長 三浦 亨 様
農業用ため池の保全管理 ～点検による異常の発見と災害の未然防止～	宮城県ため池サポートセンター 技術部次長 鈴木 仁
	公益社団法人 みやぎ農業振興公社 畜産・農村振興部農地整備班 技師 中澤 拓哉 様

土地改良区職員研修会を開催しました

2月6日、仙台市宮城野区のエスポールみやぎ（宮城県青年会館）において、県内24土地改良区から30名参加のもと、「土地改良区職員研修会」を開催しました。

この研修は、本会の事業計画に基づき、土地改良区の体制強化を目的として毎年度開催しているものです。

本研修会では、外部の専門講師による講演に加え、『宮城の水土里を未来に～皆さんの役割と将来を考える～』と題し、研修を行いました。研修内容は次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
労働環境に於けるコンプライアンスについて	仙台法務局人権擁護部 第一課長 進藤 秋博 様
宮城の水土里を未来に ～皆さんの役割と将来を考える～	元 農林水産省農村振興局長 元 全国農村振興技術連盟委員長 太田 信介 様

農業農村整備研修会を開催しました

2月7日、宮城県土地改良会館において、宮城県及び各地方振興事務所、土地改良区から46名参加のもと、「農業農村整備研修会」を開催しました。

本研修会は、宮城県職員や市町村、本会の若手職員での交流・意見交換を目的として開催し、「楽しく充実した仕事のために」をテーマに、ブレインストーミング形式でのワークショップを行いました。

研修内容は次のとおりです。



研修会の様子



ワークショップの様子

研修内容	講師名
「楽しく充実した仕事のために」 ～宮城県・市町村・土地連若手技術者との意見交換～	元 農林水産省農村振興局長 元 全国農村振興技術連盟委員長 太田 信介 様

基幹水利施設省エネルギー化技術向上 研修会を開催しました

2月21日、宮城県土地改良会館において、県内各地方振興事務所及び土地改良区から32名参加のもと、「基幹水利施設省エネルギー化技術向上研修会」を開催しました。

本研修会は、土地改良区体制強化事業（基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修）の一環として実施したものです。

研修では、土地改良施設における省エネルギー化を推進するために有効な「高効率機器」や、「太陽光発電電源による水門等の操作管理」に関する情報提供を行いました。

研修内容等は次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
省エネルギー化を図る上で有効となる高効率機器等について	(株) 電巧社 仙台支店 開発営業部 部長 菊池良太 様
太陽光発電電源による水門等の操作管理について	(株) farmo 企画部 福田修平 様

農業水利施設ストックマネジメント研修会を開催しました

2月21日、宮城県土地改良会館において、県内各土地改良区から38名参加のもと、「第3回農業水利施設ストックマネジメント研修会」を開催しました。

本研修会は、土地改良区体制強化事業（基幹水利施設保全管理技術向上研修）の一環として、年3回実施されるものであり、今回はその3回目となります。これまでの研修内容と成果を踏まえ、今回は「機能保全計画書の作成」を中心に実践的な研修を行いました。

研修会の内容等は次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
宮城県農業水利施設の機能保全に関する実施方針について	宮城県農村整備課水利施設保全班 物江様 水土里ネットみやぎ 総務部 会員支援班 班長 中川 洋志
施設機械設備の日常管理・診断について	
概略診断と詳細診断の結果の比較について	
農業水利施設の機能保全計画書の概要について	
機能保全計画書の作成について	

多面的機能支払交付金に係る 土地改良区事務受託研修会が開催されました

2月28日、宮城県土地改良会館5階大会議室において、土地改良区から25名参加のもと、「多面的機能支払交付金に係る土地改良区事務受託研修会」が開催されました。

本研修会は、宮城県多面的機能支払推進協議会が主催により開催され、土地改良区と多面的機能支払活動組織の連携強化を目的としています。

第1部では、土地改良区と活動組織の連携のあり方や事務受託に係る契約手続きについて説明が行われました。続く第2部では、すでに事務を受託している土地改良区から、受託にあたってのメリットや課題、対応に苦慮した点、そして今後受託を検討する土地改良区へのアドバイスなどについて、活発な意見交換が行われました。



意見交換会の様子

研修内容	講師名
活動組織と土地改良区の連携について	宮城県多面的機能支払推進協議会 事務局 高橋 新
事務受託に係る契約手続き	
意見交換会	-

■ 土地改良区の概要

本土土地改良区の地域は、宮城県北東部の太平洋沿岸に位置し、北は旧北上川と支流の江合川、南は北上運河に接しています。東西は旧北上川より旭山丘陵地帯まで広がり、2市2町に跨る水田面積約4,625haの低地平坦な農村地帯です。用水は旧北上川より2つの揚水機場で取水し、さらに2つの機場で二段揚げを行っています。排水は旧北上川や定川などへ17機場により機械排水を行っています。

〔土地改良区の沿革〕

当地域の排水改良をすべく、戦後間もない昭和26年から45年にかけて「国営定川農業水利事業」が実施され、昭和28年2月20日に「定川出来川沿岸土地改良区」が設立されました。また、用水確保のため、昭和46年から56年にかけて「国営河南農業水利事業」が実施され、昭和44年4月1日に「北上川河南三郡土地改良区」が設立されました。さらに、令和6年8月1日には、重複や重畳を解消すべく、「広瀨沼土地改良区」を含めた3土地改良区が合併し、「河南矢本土土地改良区」が発足しました。

〔取組と課題〕

平成4年より「県営圃場整備事業」を実施しており、これまでに15地区が完了、現在は4地区が施行中です。対象面積は約3,678haに及び、農地の汎用化による生産性の向上と農業経営の近代化を図っています。基幹水利施設については、50年以上が経過した老朽化施設の更新を目的として、平成28年より「河南二期地区農業水利事業」を施行中で、令和11年度の完了を予定しています。また、「水利施設管理強化事業」等の活用や市町より排水負担の協力を得ることで、組合員の賦課軽減に努めています。しかしながら、管理施設の多さに加え、近年の電気料などの高騰により賦課金が高額となっており、施設の老朽化対策や、農家の高齢化・担い手不足に伴う農地の維持が課題も顕在化しています。今後は、これら課題を着実に解決していくことが、当土地改良区の重要な使命であると考えています。



円筒三方分水工



用水管理センター操作室

国営中山揚水機場

河南矢本土土地改良区

所在地 石巻市和瀨字小金袋三番 22-7

団体表彰

- ・平成10年 全国土地改良事業団体連合会 金賞
- ・平成23年 農林水産大臣賞

受益面積：4,678 ha

組合員：2,308名 理事：17名 監事：3名 職員：19名



第12回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト 審査結果発表！

「みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト」は、宮城県内の農村に広がる美しい景観や、伝統行事、農村での暮らしなどについて、県民の皆さまに農業・農村への関心を深めていただくことを目的として開催しています。

第12回となる今回は、新たに「Instagram 部門」を創設し、カメラ部門とあわせて、多数のご応募をいただきました。

審査は、カメラ部門については2月14日、宮城県土地改良会館にて審査会を実施。Instagram 部門については1月中旬から2月上旬にかけて3校の高等学校審査校による審査を行いました。

その結果、以下のとおり各賞が決定しました。

入賞作品は、水土里ネットみやぎホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。農村の魅力を再発見できるすばらしい作品の数々をお楽しみいただけます！



カメラ部門 入賞作品



宮城県知事賞

【お手伝い】

撮影者：西條きみ子 様 / 撮影地：大崎市

第12回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト

カメラ部門 / Instagram 部門

入賞作品紹介ページ

https://mlw.or.jp/nonbiri_award/10587/



水土里ネットみやぎ会長賞

【とったぞー】

撮影者：村上勇一郎 様 / 撮影地：仙台市



宮城県中山間地域活性化推進協議会長賞

【ふるさとの情景】

撮影者：小檜山裕行 様 / 撮影地：丸森町



学生優秀賞【桜の下での語らい】

撮影者：山田剛瑠 様 / 撮影地：大衡村



ふるさと賞【山里に春が来た】

撮影者：木村文武 様 / 撮影地：大崎市



ふるさと賞【花いっぱい石巻線】

撮影者：千葉恵一 様 / 撮影地：涌谷町



ふるさと賞【お先に失礼！】

撮影者：菅野まひろ 様 / 撮影地：大崎市



入選【お手伝い】

撮影者：相沢開 様 / 撮影地：栗原市



入選【御田植祭】

撮影者：日野俊文 様 / 撮影地：塩釜市



入選【稲架かけ】

撮影者：工藤るみ 様 / 撮影地：仙台市

Instagram 部門 入賞作品



Instagram 大賞

【 星降る蔵王の草原 】

撮影者：伊藤柚希 様 / 撮影地：蔵王町



入選【 夕焼けを渡る 】

撮影者：氏家正貴 様 / 撮影地：大崎市



入選【 夕焼け空 】

撮影者：小野寺賢 様 / 撮影地：栗原市

～女性理事登用事例～

江合川沿岸土地改良区

地域との架け橋に！

女性理事が新たに就任

経歴

かつて農協に勤務し、現在は本格的に営農を始めて約1年。地域の総代からの信頼と推薦を受けて、このたび理事に就任しました。



佐藤理事長（左）大場浩子理事（右）



インタビューの様子

おもうこと

現在、人口流出に伴う後継者不足など課題が深刻化してきていますが、それによって地域の農業が衰退していくのはとても悲しいことです。私自身もまだまだ勉強中ではありますが、土地改良事業や農業について学びながら、地域の皆さまと一緒に農業を守っていけたらと思っています。

アドバイス

土地改良事業の内容は幅広く、まだ分からないことも多くありますが、事務局をはじめ、周囲の皆さまから温かいサポートや後押しをいただきながら成長し、さまざまな場面で女性ならではの視点や感覚を生かしていくことが、今後ますます大切になってくると感じています。

水路やため池での水難事故に注意！



宮城県内では、4月から8月にかけて水田への用水時期となり、ため池や水路の水量が増加し、流れも速くなる時期です。この時期には、子どもや高齢者が水路やため池に転落するなどの水難事故が多数発生しており、非常に危険です。

事故を未然に防ぐため、水路やため池を管理されている管理者においては、安全を確保するため、日常的に周囲の巡視・点検を行い、危険箇所がないかの確認を徹底していただくようお願いいたします。

また、点検の結果、水難事故発生の恐れがある箇所については、「事故の注意喚起の立て看板やポスター設置」、「安全柵の設置や補修」、「広報活動による地域への呼びかけ」を行うなど、地域住民へ対策を講じ、事故の未然防止に努めていただきますようお願いいたします。

水土里ネットみやぎ職員募集！

水土里ネットみやぎは、長年にわたり蓄積してきた技術と経験をもとに、県内の市町村や土地改良区などの会員の行う土地改良事業に対して総合的な技術的支援を行い、みやぎの活力ある農業・農村づくりと日本の食料安全保障の確立に努めています。

水土里ネットみやぎの業務は、「農業・農村の発展に寄与する」という理念のもと、地域と未来をつなぐ重要な役割を担っており、大きな責任を伴う一方で、やりがいと満ちた職場であると確信しています。

私たちは、技術と情熱を持つ仲間とともに、水・土・里の持つ可能性をさらに広げ、未来へつなげていきたいと考えています。今と未来を結ぶ一員として、新たに加わってくださる皆さんとの出会いを、心より期待しています。

■ 皆さんにはこんな仕事をさせていただきます！ ※配属先で変わります ■

【事務職】

組織運営全般、経理・庶務・契約・広報・
会員支援・換地業務など



【技術職】

農業農村整備事業の事業計画策定・機能診断・
工事費積算・設計・施工管理など



令和6年度 本会職員資格取得者

資格名	取得者数	資格名	取得者数	資格名	取得者数
土地改良区体制強化 事業会計指導員	1	商工簿記3級	1	商工簿記2級	1

人事異動

【宮城県土地改良事業団体連合会】（令和7年4月1日付）

総務部

- ・ 総務部次長（調整・指導担当）〔総務部総務班次長（班長）〕 藤原 一義
- ・ 総務部総務班次長（班長）〔総務部事業支援班上席主幹（班長）〕 高橋 新
- ・ 総務部総務班主事〔新規採用〕 大久保英成
- ・ 総務部会員支援班主幹（嘱託）〔総務部事業支援班主幹（嘱託）〕 戸松 若菜
- ・ 総務部会員支援班主査〔総務部総務班主査〕 吉田 葵
- ・ 総務部会員支援班主事〔総務部事業支援班主事〕 三塚 雄伍

換地部

- ・ 換地部換地集積一班次長（班長）〔換地部換地集積一班上席主幹（班長）〕 鈴木 克己
- ・ 換地部換地集積二班主任主査〔総務部事業支援班主任主査〕 岩渕 信吾

技術部

- ・ 技術部次長（技術調整担当）兼宮城県ため池サポートセンター長 大内 喜穂
- ・ 〔技術部次長（技術調整担当）〕
- ・ 技術部農村整備二班技術主幹（副班長）〔技術部農村整備一班技術主幹（副班長）〕 大沼 隆一
- ・ 技術部農村整備四班技術主幹（嘱託）〔技術部農村整備二班技術主幹（嘱託）〕 後藤 広幸
- ・ 技術部農村整備四班技術主幹（嘱託）〔新規採用〕 熊谷 良実
- ・ 技術部農村整備五班上席技術主幹（班長）〔技術部農村整備五班技術主幹（副班長）〕 鈴木 信
- ・ 技術部農村整備五班技術主査〔技術部農村整備四班技術主査〕 赤間 愛莉

古川事業所

- ・ 古川事業所農村整備一班技術次長（班長）〔技術部農村整備五班技術次長（班長）〕 小野新一郎
- ・ 古川事業所農村整備一班専門技術主幹 齋藤 稔
- ・ 〔古川事業所農村整備一班上席技術主幹（班長）〕
- ・ 古川事業所農村整備一班技術主幹〔技監〕 加藤 正司
- ・ 古川事業所農村整備一班技術主査〔古川事業所農村整備一班技師〕 日下 雄介

【宮城県土地改良事業団体連合会】（令和7年3月31日付）

- ・ 退職〔総務部総務班主幹〕 澤田 武志
- ・ 退職〔技術部農村整備四班技術主幹〕 熊谷 良実
- ・ 退職〔古川事業所農村整備二班技術主幹（嘱託）〕 保科 利文

就退任

仙台東土地改良区 理事長 佐藤 稔 → 木村 浩市 【就任 R7.4.1】

連合会日誌

開催日	主催者名	行事名	開催場所
1月	10日 全国水土里ネット	都道府県土連・会員土地改良区事務責任者会議	オンライン
	17日 宮城県中山間地域活性化推進協議会	宮城県中山間地域活性化推進協議会職員研修会	本会館
2月	6日 本会	令和6年度 土地改良区職員研修会	エスポールみやぎ（宮城県青年会館）
	7日 本会	令和6年度 農業農村整備研修会	本会館
	14日 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト事務局	第12回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査会	本会館
	21日 本会	第5回 監事会	本会館
	21日 本会	第4回 理事会	本会館
	21日 本会	令和6年度 基幹水利施設省エネルギー化技術向上研修会	本会館
	21日 本会	第3回 農業水利施設ストマネ研修会	本会館
3月	7日 本会	令和6年度 宮城県管理運営体制強化委員会	本会館
	21日 本会	第66回 通常総会	本会館
	26日 全国水土里ネット	第67回 全国水土里ネット通常総会	都市センターホテル（東京都）
	26日 全国水土里ネット	第66回 全国土地改良功労者等表彰式	シェーンバッハ・サボー（東京都）

今後の行事予定

開催日	主催者名	行事名	開催場所
4月	23日 全国水土里ネット	都道府県土連会長・事務責任者会議	全国都市会館
5月	7日 東北・北海道土地連連絡協議会	東北・北海道土地連連絡協議会事務責任者会議	青森県
	27日 東北・北海道土地連連絡協議会	東北・北海道土地連連絡協議会総会	青森県
6月	調整中		

お陰様で弊社は創業78周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂けますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング
萱場工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号
TEL：022-272-8686
ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、
農業生産の基盤整備・活性化に取り組んでいます。



株式会社パスコ
仙台支店
宮城県仙台市宮城野区
名掛丁 205-1
022-299-9522
www.pasco.co.jp

株式会社同和建材

〒989-6124
宮城県大崎市古川石森字天王山2-1
電話 0229-24-2755
メール dowa-2755@athena.ocn.ne.jp

- ☆ 農業土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

農業の明日へ

地域の未来へ

整えより良い環境作り

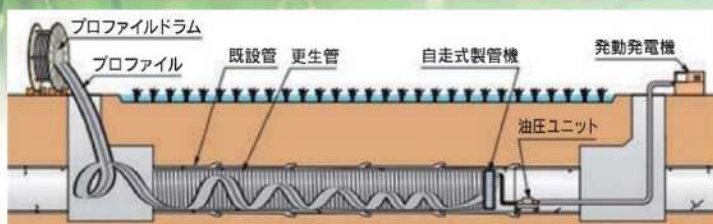
備え次世代へ繋ぐ



農業用パイプライン更生工法

SPR-A工法

SPR-A工法の自走式



既設管: 800 ~ 5,000mm

円形、矩形、馬蹄型など

特長

作業に支障のない水量なら通水しながら施工可能
5,000mmの大口径にも対応

開口部(600mm程度)があれば、機材や資材の搬入が可能
なため、開削が不要

新管と同等以上の管路(強度・流量)に復元



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車39-3 TEL・FAX 022(392)5981

日本SPR工法協会

TEL 03(5209)0130(代)

ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>

SPR工法



ウェブサイトは
こちら！

<https://mlw.or.jp>

過去の広報誌もご覧いただけます

●発行 2025年4月1日

●発行所 水土里ネットみやぎ(宮城県土地改良事業団体連合会)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号

TEL 022-263-5811(代表)/FAX 022-268-6390

●印刷 株式会社セント

〒981-0902 仙台市青葉区北根 4-2-20

TEL 022-274-6441/FAX 022-274-6391